

●長崎県立大学 令和5年度第2回教育研究評議会 議事録

日 時	令和5年5月10日（水） 14：40～15：25
場 所	シーボルト校特別会議室
出席者	浅田学長、橋本副学長、岩重副学長、大塚副学長、松崎副学長、代田経営学部長、綱地域創造学部長、関谷国際社会学部長、有田情報システム学部長、古場看護栄養学部長、谷澤地域創生専攻長兼地域社会マネジメント専攻長、平岡情報工学専攻長、倉橋人間健康科学専攻長、下野附属図書館長、西岡佐世保校附属図書館長、井上事務局長、山田シーボルト校事務局長、榊原学生支援部長
配付資料	<p>【資料1】文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」申請について</p> <p>【資料2】国際交流研究センターの英語名について</p> <p>【資料3】留学に伴う海外渡航について</p> <p>【資料4】令和5年度学長が掲げる目標について</p> <p>【資料5】令和4年度卒業生就職状況について（確定）</p>
議 事	<p>【協議事項1. 文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」申請について】</p> <p>資料1に基づき、学生支援課長補佐より次のような説明があり、了承された。</p> <p>「AI戦略2019」の一環として文部科学省が進める当該制度への申請を行いたい。一定の要件を満たした「優れたプログラム」としての認定を受けることで、本学におけるデータサイエンス教育の取組みを学内外へ広く周知することができる。認定後、教職課程「免許法施行規則66条の6」科目としての設定を想定している。</p> <p>必要となる申請書は資料のとおり。</p> <p>【協議事項2. 国際交流研究センターの英語名について】</p> <p>資料2に基づき、国際戦略担当副学長より次のような説明があり、了承された。</p> <p>令和4年度のセンター見直しに伴い、センター名称が変更となったことから、当該センターの英語名称を以下の通り定めたい。</p> <p>国際交流研究センター：Center for Global Education and Research</p> <p>【協議事項3. 留学に伴う海外渡航について】</p> <p>資料3に基づき、国際戦略担当副学長より次のような説明があり、了承された。</p> <p>本学では、留学等に伴う学生の海外渡航について、外務省より提供されている海外安全情報の「危険情報」及び「感染症危険情報」のレベルに応じ、取扱いを整理している。留学の際、重大事故発生時等の総合機器管理サービスとして、OSSMAへの加入をしているが、他サービス（JSAF）の利用も</p>

想定されることから、国際交流等に伴う危機管理対応マニュアルをはじめ、留学等に伴う各種手続き書類に当該サービスのことを追記する。

【報告事項 1. 令和 5 年度学長が掲げる目標について】

資料 4 に基づき、学長より次のように報告された。

令和 5 年度学長が掲げる目標について、概要が説明された。

【報告事項 2. 令和 4 年度卒業生就職状況について（確定）】

資料 5 に基づき、学生支援部長より次のように報告された。

令和 5 年 4 月末時点での内定状況は、大学全体では 99.5%となった。

なお、昨年同時期は 98.4%である。

未内定者数は 3 名（佐世保校 3 名）となった。県内就職率は 32.7%となった。なお、昨年同時期は 33.2%である。

以上